

松戸市・2次試験

H 2 7

7/23～8/3 までの間、平日に行われる。

適性検査

時間は 40 分ほど

20-30 人位が集合場所の会場で受けた。

これは簡単な内容で、
信念や行動に関し、YES か NO を選んでいく感じ。

適性検査終了後、
面接会場に移動するため、軍隊のように整列し、
道路を挟んだ向かいの会場に受験生全員で移動する。

トイレ休憩をはさんだ後、集団面接が開始される。

集団面接

面接会場は 4 つほど

時間はおよそ 50 分

面接官は 3 人

右：20 代女 （感じがいい若手、質問が下手。慣れてない感じ）

中：40 代男 （自分が質問のターンになると、にこやかになる）

左：40 代男 （司会っぽい人、5 月の説明会にもいた人）

1 グループ：6 人

私のところは男女混合で、全員既卒職歴ありというメンバー

受験生は事前に渡されている A～F の名札を付ける。

面接時はアルファベットで呼ばれる。

面接時間になったら誘導員に呼ばれて、
A を先頭として会場に入室する。

荷物置き場にカバンを置き、

イスの横に立ち、
面接官の指示があり次第、着席する。

最初は雑談のような感じで、

左の面接官がAから順に

『昼食はとりましたか？

取っていない人はこれからとるのですか？』

などと質問が行われた後、

『それでは面接をおこないます』という合図のもとスタートした。

右：「では、私から質問です。

まずは1分で自己PRをお願いします」

→A～Fまで、順番に自己PRをひたすら行う。

右：「それではAさん、自己PRにもあったと思いますが、

苦勞したことや

努力したことを教えてください。」

右：「これから得た経験は、今後もしかしていきそうですか？」

→A～Fまで同じような感じ。

右：「これで私からの質問を終わります。」

※この一連の流れで『30分弱』は経過していたと思われる。

中：「次に私からの質問です。」

この人は主に職歴について聞く担当で、

A～Fについて、

- ・前職（現職）の役回り
- ・退職理由
- ・辞める時、どのように仕事を引き継ぎましたか？

- ・現職の人については、
いつ辞める予定か？

- ・ 4, 5年働いてきたのに辞めてしまうなんて、
会社は残念がるんじゃないでしょうか？
- ・ 辞めることを上司にいいましたか？

こんな感じで、主に仕事関連について質問していた。

また、

『今までの経験を生かしてやりたい仕事』についても聞かれた人もいた。

左：「では私から質問です。」

→A～Fの順番ではなく、
C D E F A Bと順番を変更してきた。

変化球系の質問だった。

※みんな違う質問を投げかけられた。

- A 生活保護が増えていますが、
原因はどのようなものだと考えますか？
- B 高齢者の熱中症が増えていますが、何が原因でしょうか？
- C 自転車の交通違反の罰則ができましたが、
それでもなお、自転車の交通違反は減る気配がみえません。
どのような対策ができますか？

みたいな感じで、

主に社会問題について、

『相手にわかりやすく、端的に、

自分の見解をその場で考えて伝える』

ということがみられているように思えた。

左：上記質問が終了すると、

あとはざっと受験者の履歴書を見ながら、

『Bさんは鉄道会社に勤めているんですね。

私の友人もBさんと同じ会社で勤めており、

その人は鉄道オタクなんですよ！あなたもオタクですか？」など

面接官が気になった項目に対して、
答えづらい質問を投げかけていた。

そして「これで面接を終了します」と言って終了した。

感想

全体的にかなり和やかなムードの集団面接だった。
体感としては、
私と面接官のやりとりが5分程度(超短い)のように感じた。
なお、他の人は面接官とのやりとりがとても多かった。

私のやりとりが短くなった理由は、
私が面接官の質問に
端的に短く、
聞かれたことに対してそれだけを返したからだと思う。

なぜそうしたかという、
周りの受験生が、
あまりに長くグダグダしゃべっていたからだ。

例えば、
最後の質問の、
『原因と対策は?』という質問に対し、
原因と対策を述べず、
私的なことを話していた人もいたし、

苦労したことや努力したことも、
グダグダ長々と話していた人がいた。

したがって、
『あえて短く端的に答え、印象付けよう』と心がけた。

しかしながら、
端的に回答したのは良かったのだが、
全く深堀りされることなく、面接が終了してしまったので、
全くの手ごたえがなく、消化不良を起こした。

面接終了時は、
もっと長く時間を使って回答をした方がよかったと思った。

ただ、結果としては合格だった。

何を基準に判断しているのかは、不明であるが、
民間の面接官の経験がある人のブログに、
集団面接について記載があった。

合格・不合格が明確になっている人にはさほど時間を割かないが、
当落ラインにある人に対しては、
多くの質問を投げかけて判断するという。

もしかしたら、
この人のブログのようなことが本試験でも行われていたのかもしれない。